令 和 ４ 年 度

第４年次編入学生募集要項

入　学　案　内

（出願書類添付）

試験区分	出　願　期　間	試　験　日	合　格　発　表
推　薦	令和３年７月 12 日(月) ～7 月 16 日(金)	令和３年７月 31 日(土)	令和３年８月 16 日(月)
学　力	令和３年 11 月 17 日(水) ～11 月 24 日(水)	令和３年 12 月 4 日(土)	令和３年 12 月 17 日(金)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、上記日程及び選抜方法等について変更となる可能性がございます。変更が決定しましたら、本校ホームページ上で告知しますので、ご確認をお願いします。

独立行政法人　国立高等専門学校機構

佐 世 保 工 業 高 等 専 門 学 校

佐 世 保 市 沖 新 町 １ 番 １ 号
郵便番号　〒８５７－１１９３
電　　話　（０９５６）３４－８４２８（学生課入試担当）
Ｆ Ａ Ｘ　（０９５６）３４－８４２５（学生課）
E-mail　nyusi@sasebo.ac.jp
ホームページアドレス　https://www.sasebo.ac.jp/

【本校の教育目的】

(1)　ものづくりや創造する喜びと学ぶ楽しさを早期に知ることを通して，明確な職業意識，学習意欲を養成する。
(2)　高度科学技術を中核となって推進するための基礎知識と基礎技能，専門知識を身につけ，自ら課題を探究し，解決できる能力を養成する。
(3)　実験実習など体験学習を重視して豊かな創造性と実践力を養成する。
(4)　論理的な思考力，コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力を養成する。
(5)　情報技術の進展に対応できるよう，全学科において情報リテラシーを養う。
(6)　豊かな教養と倫理観を身につけ，地球的な視野で人類の幸福のために貢献できる能力を養成する。

【各学科の教育目的】

○　基幹教育科

(1)　人文・社会・保健体育系科目では，心身ともに豊かな人間性と倫理観を養成する。
(2)　理数系科目では，実験・実習の体験的学習を重視し，理論と実践に導かれた創造性と実践力を養成する。
(3)　国語・英語系科目では，国際的に活躍できる技術者としてのコミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上を図り人間力を養成する。
(4)　専門科目との連携を図り，専門科目学習につなげるための基礎学力・応用力を養成する。

○ 機械工学科

(1)　材料力学・機械力学・熱力学・流体力学という４つの力学科目の習得を通して，機械工学系技術者としての基礎能力を養成する。
(2)　機械工作，機械材料，機構，設計などのものづくり技術関連分野に加え，制御工学や電気・電子工学分野などのメカトロニクス技術関連分野の習得により，機械装置・機械システムの設計開発能力を養成する。
(3)　ものづくりの基盤となる機械製図や機械工作実習，機械工学実験を通して実践力を育み，卒業研究では自学自習能力の向上とともに，総合的な課題解決能力および技術開発能力を養成する。

○ 電気電子工学科

(1)　電気回路や電磁気学などの工学系基礎科目の習得を通して，電気電子系技術者としての基礎能力を養成する。
(2)　電気工学，電子工学および情報通信工学の三分野の幅広い技術を教授し，エネルギー・エレクトロニクス・コンピュータ分野で課題を追及・解決できる能力を養成する。
(3)　電気電子情報工学実験や実習などの実践的学習を通して，計画・遂行・データ解析・工学的考察および説明能力を育み，卒業研究においては技術開発能力を養成する。

○ 電子制御工学科

(1)　情報通信系，電気電子系，機械制御系の基礎科目の習得を通して，電子情報・制御系技術者としての基礎能力を養成する。
(2)　ソフトウェアや電子制御システムの理解を通じて，コンピュータや電子回路技術を応用した自動化システム・ロボットシステム・知能化システムのデザイン能力を養成する。
(3)　情報処理や工学実験などの実験実習を通して実践力を育み，卒業研究では自学自習能力の向上とともに，問題解決能力および技術開発能力を養成する。

○ 物質工学科

(1)　有機化学系，無機化学系，分析化学系，化学工学系および生物工学系の基礎科目の習得を通して，化学・生物系技術者としての基礎能力を養成する。
(2)　物質コースでは機能材料工学などを学習し，生物コースでは分子生物学などの理解を通じて，化学および生物工学領域における課題探究能力を養成する。
(3)　物質化学実験により実践力を育み，卒業研究により自学自習能力の向上とともに，課題解決能力および技術開発能力を養成する。

受験生の皆さんへ

佐世保工業高等専門学校におけるアドミッション・ポリシー
（入学者に求める能力と適性）

■機械工学科

機械工学科では，次のような人材を求めます。また，４年次編入学の場合は以下に準じます。

１）自然現象に対して好奇心が強く，ものづくりの好きな人
２）機械に興味をもち，機械に関する専門知識と技術を習得したい人
３）基礎学力を有し，それらを活用して論理的に思考し，表現できる人
４）技術者として人類の幸福に貢献したり国際的に活躍したい人

■電気電子工学科

電気電子工学科では，次のような人材を求めます。また，４年次編入学の場合は以下に準じます。

１）自然現象に対して好奇心が強く，ものづくりの好きな人
２）電気電子工学に興味をもち，電気電子工学に関する専門知識と技術を習得したい人
３）基礎学力を有し，それらを活用して論理的に思考し，表現できる人
４）技術者として人類の幸福に貢献したり国際的に活躍したい人

■電子制御工学科

電子制御工学科では，次のような人材を求めます。また，４年次編入学の場合は以下に準じます。

１）自然現象に対して好奇心が強く，ものづくりの好きな人
２）コンピュータやロボットに興味をもち，情報や電子制御システムに関する専門知識と技術を習得したい人
３）基礎学力を有し，それらを活用して論理的に思考し，表現できる人
４）技術者として人類の幸福に貢献したり国際的に活躍したい人

■物質工学科

物質工学科では，次のような人材を求めます。また，４年次編入学の場合は以下に準じます。

１）自然現象に対して好奇心が強く，ものづくりの好きな人
２）化学や生物に興味をもち，物質工学に関する専門知識と技術を習得したい人
３）基礎学力を有し，それらを活用して論理的に思考し，表現できる人
４）技術者として人類の幸福に貢献したり国際的に活躍したい人

佐世保工業高等専門学校におけるカリキュラム・ポリシー
（教育課程編成・実施の方針）

■基幹教育科

専門科目学習につながる基礎学力の定着と応用力の養成を目的として，専門科目との連携を図るために，以下の科目群で教育課程を編成する。

1)　心身ともに豊かな人間性と倫理観を養成するために，人文・社会・保健体育系科目を編成する。
2)　理論と実践に導かれた創造性と実践力を養成するために，実験・実習の体験的学習を重視した理数系科目を編成する。
3)　国際的に活躍できる技術者としてのコミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上を図り人間力を養成するために，国語・英語系科目を編成する。

■機械工学科

ディプロマ・ポリシーにおいて掲げた能力を育成するために，以下の科目群で教育課程を編成する。

1)　基幹教育科のカリキュラム・ポリシーに記載された，理数系の基礎・応用力，豊かな教養と人間性，国際性を育むための共通基礎科目
2)　機械工学の基礎・専門に関する科目：機械工作法，材料学，情報工学，材料力学，機械力学，熱工学，流体工学，電気・電子工学，制御工学などを基盤とした基礎・専門科目
3)　技術修得に関する科目：実践的な機械工学実験，機械工作実習，設計製図，ものづくり総合実習，創作実習などの実技科目
4)　課題解決能力育成科目：卒業研究や文献講読，機械工学特別演習，社会人基礎力育成セミナーなど，基礎・専門知識や技術を活用して自ら課題を探求し解決できる能力，自主性や協調性，等を総合的に育成するための科目

■電気電子工学科

ディプロマ・ポリシーにおいて掲げた能力を育成するために，以下の科目群で教育課程を編成する。

1)　基幹教育科のカリキュラム・ポリシーに記載された，理数系の基礎・応用力，豊かな教養と人間性，国際性を育むための共通基礎科目
2)　電気電子工学の基礎・専門に関する科目：電気回路，電気機器，電力工学，情報通信工学などを基盤とした基礎・専門科目
3)　技術修得に関する科目：実践的な電気電子情報工学実験，電気電子製図演習，情報工学基礎演習などの実技科目
4)　課題解決能力育成科目：実技科目や卒業研究など，基礎・専門知識や技術を活用して自ら課題を探求し解決できる能力，自主性や協調性，等を総合的に育成するための科目

■電子制御工学科

ディプロマ・ポリシーにおいて掲げた能力を育成するために，以下の科目群で教育課程を編成する。

1)　基幹教育科のカリキュラム・ポリシーに記載された，理数系の基礎・応用力，豊かな教養と人間性，国際性を育むための共通基礎科目
2)　情報学，電気電子工学，機械工学の基礎・専門に関する科目：コンピュータ科学，ネットワーク・セキュリティ，電気・電子，制御・システム，ロボティクスなどを基盤とした基礎・専門科目
3)　技術修得に関する科目：実践的な情報システム，ソフトウェア，電気・電子，制御・システムなどの実技科目
4)　課題解決能力育成科目：実技科目や卒業研究など，基礎・専門知識や技術を活用して自ら課題を探求し解決できる能力，自主性や協調性，等を総合的に育成するための科目

■物質工学科

ディプロマ・ポリシーにおいて掲げた能力を育成するために，以下の科目群で教育課程を編成する。

1)　基幹教育科のカリキュラム・ポリシーに記載された，理数系の基礎・応用力，豊かな教養と人間性，国際性を育むための共通基礎科目
2)　物質工学の基礎・専門に関する科目：分析化学，有機化学，無機化学，物理化学，化学工学，生物化学および機能材料学，生物工学などを基盤とした基礎・専門科目
3)　技術修得に関する科目：実践的な物質化学実験（分析化学実験，有機化学実験，物理化学実験，化学工学実験，生物化学実験など）や創作実習などの実技科目
4)　課題解決能力育成科目：実技科目や卒業研究など，基礎・専門知識や技術を活用して自ら課題を探求し解決できる能力，自主性や協調性，等を総合的に育成するための科目

※　本校のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）については，本校ホームページをご覧ください。

令和４年度　第４年次編入学生募集要項

Ⅰ．推薦による選抜

１．募集学科・学年・人員

学　科　名	編入学年次	募 集 人 員
機 械 工 学 科 電気電子工学科 電子制御工学科 物 質 工 学 科	第４学年	若　干　名

２．出願資格

次に掲げる者で、下の推薦条件（ア）（イ）（ウ）を全て満たし、在籍学校長が責任を持って推薦できる者とします。

（１）工業高等学校を令和４年３月卒業見込みの者

（２）高等学校の工業に関する学科を令和４年３月卒業見込みの者

（３）中等教育学校の工業に関する学科を令和４年３月卒業見込みの者

推薦条件

（ア）人物が優れていて、技術者としての適性が認められ意欲のある者

（イ）学科（クラス）での成績が現員の上位１０％以内（１・２年次の平均）の者

（ウ）本校に入学する意志が強固であって、合格した場合は必ず入学する者

３．志望学科

志望学科	出身校における所属科等
機 械 工 学 科	機械科、電子機械科、機械システム科等
電気電子工学科	電気科、電子工学科、情報技術科等
電子制御工学科	電子工学科、電子情報科、電子機械科、情報技術科等
物 質 工 学 科	工業化学科、化学工学科、材料技術科等

４．願書受付

期　間	**令和３年７月１２日（月）から７月１６日（金）まで （郵送の場合も７月１６日（金）までに必着のこと。）**
時　間	午前８時３０分から午後５時まで。（土・日曜日及び祝日は受け付けません。）
場　所	〒857-1193 佐世保市沖新町１番１号 佐世保工業高等専門学校学生課入試担当

５．出願手続

志願者は、次の書類を取りまとめ、在籍する学校長を経由して本校「学生課入試担当」へ提出してください。なお、郵送の場合は、書留郵便にして「編入学（推薦）願書在中」と朱書してください。

編入学願書	本校所定の用紙を使用してください。
受験票及び写真票	本校所定の用紙を使用し、写真を所定の位置に貼ってください。 写真は、正面上半身脱帽で出願３か月以内に撮影したもの。
編入学志望理由書	本校所定の用紙を使用してください。
推薦書	本校所定の用紙を使用してください。
調査書	出身学校所定の用紙を使用してください。(「評定」欄は、第１学年及び第２学年のみ記入してください。)
入学検定料	**１６，５００円** 本校所定の振込用紙（ゆうちょ銀行についてはゆうちょ銀行専用の振込依頼書）により志願者本人の名前で、**金融機関（ゆうちょ銀行可）の窓口から振り込んでください。（ＡＴＭ使用不可）**振り込み後**「検定料納付証明書」を編入学願書に貼付してください。（ゆうちょ銀行からの振り込みの場合は「振込依頼書（お客さま控)」を貼付してください。）** 振込期間　令和３年７月１日（木）～７月１６日（金） ※　振り込みの際は銀行の営業日、営業時間を十分考慮して手続きを行ってください。また、検定料を願書受付最終日に振り込む場合は、振り込み後当日午後５時までに出願書類一式を提出しなければなりませんので注意してください。 ※　ゆうちょ銀行での振込手続きについては９頁を参照してください。
受験票返送用封筒	住所、氏名、郵便番号を明記した封筒に８４円切手を貼付したものを同封してください。(願書持参の場合は不要)

６．身体等に障がいのある志願者との事前相談

編入学志願者で身体等に障がいがあるため､受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、令和３年６月２８日（月）までに学生課入試担当に相談してください。

７．選抜方法

「推薦による選抜」は、在籍する学校長から提出された推薦書、調査書及び面接の総合判定とします。なお、面接では基礎的な問題について口頭試問を行います。

面接の日時・場所

期　　日	集合時間	面接開始時間	場　　所
令和３年７月３１日（土）	午前８時３０分	午前９時～	佐世保工業高等専門学校

８．合格者の発表

（１）発表日時　　令和３年８月１６日（月）　午前１０時

（２）発表方法　　合格者は、学内に受験番号を掲示するとともに、本人及び在籍する学校長宛に文書で通知します。

また、合格者の受験番号を本校ホームページでも発表します。

（アドレス　https://www.sasebo.ac.jp/）

なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

９．入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、指定した登校日に「入学確約書」を提出しなければなりません。期限までに提出しなかった者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

Ⅱ．学力による選抜

１．募集学科・学年・人員

学　科　名	編入学年次	募 集 人 員
機 械 工 学 科 電気電子工学科 電子制御工学科 物 質 工 学 科	第４学年	若　干　名

２．出願資格

（１）工業高等学校を卒業した者又は令和４年３月卒業見込みの者
（２）高等学校の工業に関する学科を卒業した者又は令和４年３月卒業見込みの者
（３）中等教育学校の工業に関する学科を卒業した者又は令和４年３月卒業見込みの者
（４）高等学校を卒業した者又は令和４年３月卒業見込みの者
（５）中等教育学校を卒業した者又は令和４年３月卒業見込みの者

３．志望学科

志望学科	出身校における所属科等
機 械 工 学 科	普通科、理数科、機械科、電子機械科、機械システム科等
電気電子工学科	普通科、理数科、電気科、電子工学科、情報技術科等
電子制御工学科	普通科、理数科、電子工学科、電子情報科、電子機械科、情報技術科等
物 質 工 学 科	普通科、理数科、工業化学科、化学工学科、材料技術科等

４．願書受付

期　間	**令和３年１１月１７日（水）から１１月２４日（水）まで （郵送の場合も１１月２４日（水）までに必着のこと。）**
時　間	午前８時３０分から午後５時まで。（土・日曜日及び祝日は受け付けません。）
場　所	〒857-1193 佐世保市沖新町１番１号 佐世保工業高等専門学校学生課入試担当

５．出願手続

志願者は、次の書類等を取りまとめ、出願資格に定める出身学校長を経由して本校「学生課入試担当」へ提出してください。なお、郵送の場合は、書留郵便にして「編入学願書在中」と朱書してください。

編入学願書	本校所定の用紙を使用してください。
受験票及び写真票	本校所定の用紙を使用し、写真を所定の位置に貼ってください。 写真は、正面上半身脱帽で出願３か月以内に撮影したもの。
編入学志望理由書	本校所定の用紙を使用してください。
調査書	出身学校所定の用紙を使用してください。（卒業見込み者の「評定」欄は、第１学年及び第２学年のみ記入して下さい。）
卒業見込証明書 又は卒業証明書	出身学校所定の用紙を使用してください。
入学検定料	**１６，５００円** 本校所定の振込用紙（ゆうちょ銀行についてはゆうちょ銀行専用の振込依頼書）により志願者本人の名前で、**金融機関（ゆうちょ銀行可）の窓口から振り込んでください。（ＡＴＭ使用不可）**振り込み後**「検定料納付証明書」を編入学願書に貼付してください。（ゆうちょ銀行からの振り込みの場合は「振込依頼書（お客さま控)」を貼付してください。）** 振込期間　令和３年１１月８日（月）～１１月２４日（水） ※　振り込みの際は銀行の営業日、営業時間を十分考慮して手続きを行ってください。また、検定料を願書受付最終日に振り込む場合は、振り込み後当日午後５時までに出願書類一式を提出しなければなりませんので注意してください。 ※　ゆうちょ銀行での振込手続きについては９頁を参照してください。
受験票返送用封筒	住所、氏名、郵便番号を明記した封筒に８４円切手を貼付したものを同封してください。（願書持参の場合は不要）
受験承諾書	既に就職している者又は大学に在学中の者については、その所属長の「受験承諾書」を本校校長あてに提出してください。 なお、様式は任意とします。

６．身体等に障がいのある志願者との事前相談

編入学志願者で身体等に障がいがあるため、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、令和３年１１月５日（金）までに学生課入試担当に相談してください。

７．選抜方法

「学力による選抜」は、学力試験の成績、出願資格に定める出身学校長からの調査書及び面接等の結果を総合して行います。

（１）学力試験

ア　学力試験は、筆記試験を行います。

イ　出願資格（１）～（３）の者についての出題する科目及びその範囲は、次のとおりとします。

なお、電気電子工学科の専門科目については、必須科目として「電気基礎」は全員受験し、選択科目として「電子回路」・「電子情報技術」・「電気機器」の３科目から２科目を選択して受験してください。

		科目名	出題範囲
専門科目	機械工学科	機械工作	工業材料、鋳造、溶接、塑性加工
		機械設計	力と運動、仕事と動力、材料の強さ 機械要素と設計（軸受、ばねを除く）
	電気電子工学科（選択科目は３科目中２科目を受験すること。）	電気基礎（必須科目）	電気と磁気、静電気、直流回路計算、交流回路計算
		電子回路（選択科目）	半導体と半導体素子、電子回路
		電子情報技術（選択科目）	論理回路、論理代数、Ｐ進数
		電気機器（選択科目）	直流機、変圧器、誘導機
	電子制御工学科	電気基礎	磁気と静電気、電気回路、電子回路
		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ技術 ｿﾌﾄｳｪｱ技術	ソフトウェアの基礎、プログラミング（Ｃ言語・アルゴリズム）
	物質工学科	工業化学	元素の性質と化学結合、溶液の濃度、物質の状態と変化（気体、酸化還元、速度、平衡を含む）、酸・塩基、有機化合物
		化学工学	化学工学に関する単位、物質収支、流体輸送、熱の移動
一般科目	各科共通	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ｂ（数列・ベクトル）
		英語	コミュニケーション英語Ⅰの全範囲

※　機械工学科、電気電子工学科及び物質工学科の専門科目については、関数電卓の使用を許可しますので持参してください。（ただし、ポケットコンピュータは不可）

ウ　出願資格（４）、（５）の者についての出題する教科及びその範囲は、次のとおりとします。

教科名	学科名	出題範囲
英語	全学科	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ
数学	〃	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ｂ（数列・ベクトル）
理科	機械工学科 電気電子工学科 電子制御工学科	物理基礎、物理（原子の領域は除く）
	物質工学科	化学基礎、化学

（２）学力試験、面接の日時

ア　出願資格（１）～（３）の者についての日時

期日	試験項目	時間
１２月４日（土）	受験者集合	８：３０
	専門科目	９：００～１０：４０（１００分）
	数学	１１：００～１２：３０（　９０分）
	英語	１３：３０～１４：３０（　６０分）
	面接	１４：５０～

イ　出願資格（４）、（５）の者についての日時

期日	試験項目	時間
１２月４日（土）	受験者集合	８：３０
	理科	９：００～１０：４０（１００分）
	数学	１１：００～１２：３０（　９０分）
	英語	１３：３０～１４：３０（　６０分）
	面接	１４：５０～

（３）試験会場　　**佐世保工業高等専門学校**

８．合格者の発表

（１）発表日時　　令和３年１２月１７日（金）午前１０時

（２）発表方法　　合格者は、学内に受験番号を掲示するとともに、本人宛に文書で通知します。
また、合格者の受験番号を本校ホームページでも発表します。
（アドレス　https://www.sasebo.ac.jp/）
なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

９．入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、指定した登校日に「入学確約書」を提出しなければなりません。提出しなかった者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

Ⅲ．編入学の時期・年次、修業年限及び修学条件

１．編入学の時期は、令和４年４月１日とし、第４年次に編入となります。
２．編入した者の修業年限は２年です。
３．本校の卒業に必要な最低修得単位数は、一般科目８１単位以上及び専門科目８６単位以上（電気電子工学科の専門科目については８７単位以上）の計１６７単位以上（電気電子工学科は１６８単位以上）です。編入学後は、申請に基づき認定審査等を行い、入学前の履修した単位等の一部を本校の卒業要件単位として認定します。ただし、原則として本校の第３年次までに開講している一般・専門科目の単位数を限度とします。
４．履修する科目等については、入学後個別に指導します。

Ⅳ．注 意 事 項 等

１．提出書類に不備がある場合は受け付けません。また、提出書類に不正の記載があった場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
２．一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還いたしません。
　また、払い込み済みの入学検定料については、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。
　　①　本校に出願書類を提出しなかった場合または提出したが受理されなかった場合
　　②　誤って二重に払い込んだ場合
３．受験の際には、必ず受験票を持参してください。

Ⅴ．個人情報の取り扱いについて

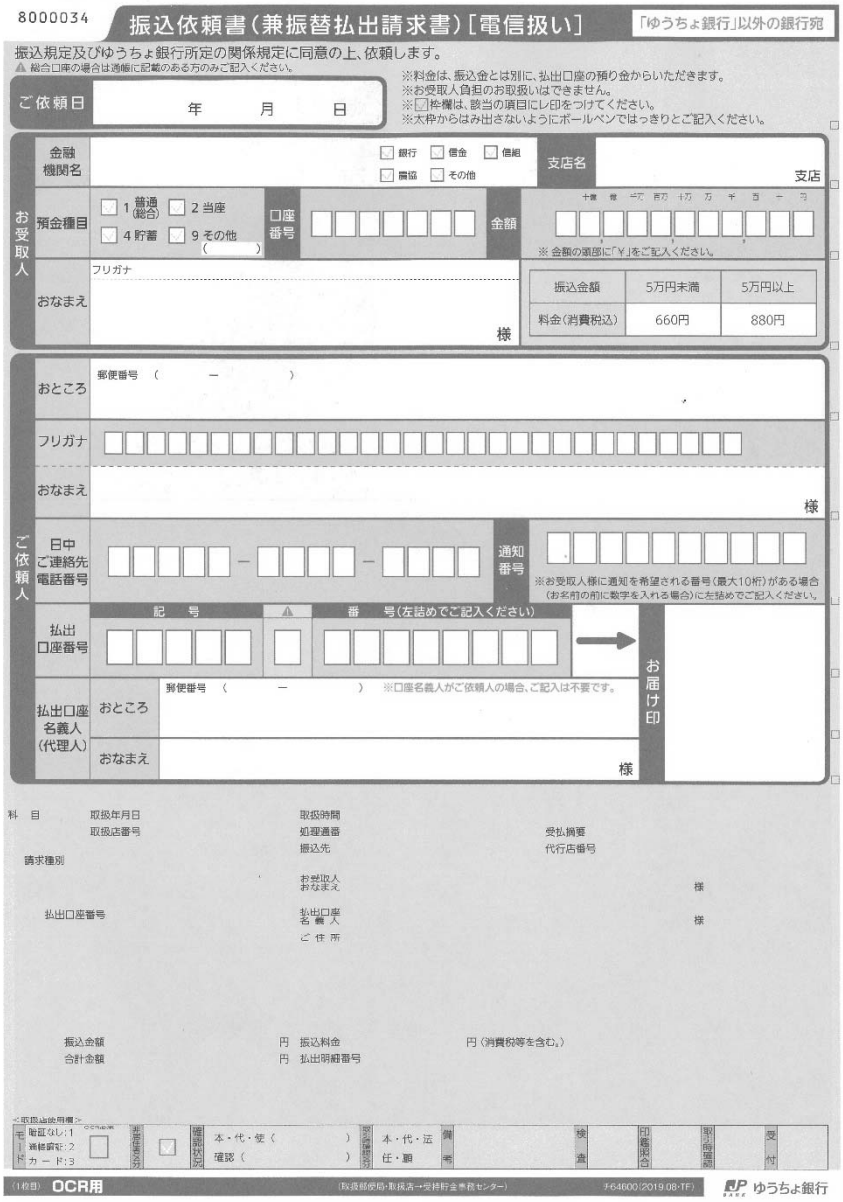
　編入学志願者から提出された願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった編入学者選抜を通じて取得した個人情報は、編入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
（１）入学後の教育・指導
（２）入学料、授業料の免除申請の審査
（３）奨学金申請の審査
（４）本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことが出来ますが、以下の条件を満たす必要がございますので、ご注意ください。

1） ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。
2） ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は募集要項に添付されている振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（以下参照）を受け取り、記入いただく必要があります。
3） 振込後は「振替依頼書（お客さま控)」を受領してください。
4） 出願の際は、振込依頼書（お客さま控）を提出してください。（振込依頼書（お客さま控）が必要な場合は、コピーを保管してください。）

※振込依頼書（サンプル）


8000034
振込依頼書（兼振替払出請求書）[電信扱い]
「ゆうちょ銀行」以外の銀行宛
振込規定及びゆうちょ銀行所定の関係規定に同意の上、依頼します。
ご依頼日 年 月 日
お受取人
金融機関名
支店名
預金種目
口座番号
金額
おなまえ
様
振込金額 5万円未満 5万円以上
料金（消費税込） 660円 880円
ご依頼人
おところ
郵便番号
フリガナ
おなまえ
様
日中ご連絡先電話番号
通知番号
払出口座番号
お届け印
払出口座名義人（代理人）
おところ
おなまえ
様
OCR用
ゆうちょ銀行

編入学のための学校案内

1　創　　立　昭和３７年４月１日

2　本校の目的　本校は、「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を養い、もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた有為な技術者を育成する」ことを目的とした高等教育機関です。卒業者には「準学士」の称号が与えられます。

3　編入学制度　高等学校の卒業者に対して本校第４学年への編入学の門戸を開いて、より優れた工業技術者を養成するための制度です。

本校では昭和６０年度からこの制度を導入し、令和２年度までに工業高校及び普通高校から１６０名を超える高等学校卒業生を受け入れています。

4　修業年限　２年（中学校卒業者の５年一貫教育ですが第４学年へ編入のため）

5　教育課程　高等専門学校の特色は、実験・実習を重視した教育を行い、共通基礎科目、基礎・専門に関する科目、技術習得に関する科目及び課題解決能力育成科目が相互に関連づけられて、効果的に教育課程が編成されていることです。

6　学　　寮

本校は、教育の一環として、共同生活を通じて人間形成を図るため、第１学年及び第２学年の男子学生について全寮制を実施しており、女子学生及び第３学年以降の男子学生は希望者を選考して入寮を許可しています。編入学生についても、同様に選考して入寮を許可します。４、５年生の寮室は個室か２人部屋で、各部屋にエアコンが完備されています。また各人ごとにベッド、ロッカー、自習机、椅子、本棚が設置されています。

7　修学支援制度

日本学生支援機構による支援制度で、入学料、授業料の減免・給付奨学金（返還不要）・貸与奨学金（卒業後返還必要）を受けることができます。

支援を受けるためには家計収入や学力等の要件がありますので、詳細は日本学生支援機構のＨＰをご確認ください。

参考までに、どの程度の支援を受けることができるのか、下表にまとめております。

また、日本学生支援機構による奨学金以外にも、各財団等による奨学金が存在します。

学校ＨＰ等で案内していますので、ご確認ください。

【入学料、授業料の減免、給付奨学金支給一覧表（年額)】

	入学料	授業料	給付型奨学金 （自宅通学生）	給付型奨学金 （自宅外通学生）
非課税世帯（全額支援） 収入 270 万円まで	84,600 円	234,600 円	210,000 円	410,400 円
準非課税世帯（2/3 支援） 収入 300 万円まで	56,400 円	156,400 円	140,000 円	273,600 円
準非課税世帯（1/3 支援） 収入 380 万円まで	28,200 円	78,200 円	70,000 円	136,800 円

【貸与奨学金支給一覧表（月額)】

第 一 種（無利息）		第　二　種 （利息付）但し、４・５年のみ
自 宅	自宅外	
45,000 円 30,000 円 20,000 円	51,000 円 40,000 円 30,000 円 20,000 円	20,000 円～120,000 円 （10,000 円単位）から選択

※第二種奨学金 ‥‥ 利息付奨学金のことで本人が貸与月額（上記参照）を自由に選択することができます。（在学中は無利息）

※貸与奨学金と給付奨学金を同時に受給する場合は、貸与額が調整（減額）されます。

９ 卒業後の進路

本校は、既に７，０００人を超える卒業生を社会に送り出し、大多数の者は各種の企業に就職して、それぞれの分野で活躍しており、また、一部の者は大学に進学し、さらに大学院へ進んだ人もいます。

９－１　就職について

産業界における高専卒業生の評価は非常に高く、毎年ほぼ１００％の就職率を誇っており、仕事の内容は、研究・開発・設計・生産管理等の分野で活躍しています。

主な就職先は次のとおりです。

◇ **機械**　三菱重工　ニコン　日本精工九州　ダイキン工業　キヤノン　村田機械　千代田工商　コニカミノルタジャパン　三井ハイテック　三菱パワー　三浦工業　中山鉄工所　矢崎総業　ＮＯＫ　カシフジ

◇ **輸送用機器**　トヨタ自動車　日産自動車　本田技研工業　マツダ　ＳＵＢＡＲＵ　いすゞエンジニアリング　マツダE&T　トヨタプロダクションエンジニアリング　ＪＡＬエンジニアリング　ＡＮＡラインメンテナンステクニクス

◇ **陸運**　ＪＲ九州　ＪＲ西日本　ＪＲ東日本　ＪＲ東海　ＪＲ貨物

◇ **食品** 江崎グリコ　森永乳業　雪印メグミルク　サントリーホールディングス　三井製糖　九星飲料工業

◇ **鉄鋼** 新日鐵住金 日鉄プラント設計　ＪＦＥスチール

◇ **繊維・パルプ** ユニチカ 東レ

◇ **化学・窯業** 花王 旭化成 住友化学 日立化成工業 日本触媒 ＤＩＣ 大日精化工業　ＪＸＴＧエネルギー 出光興産　カネカ　住友精化　デンカ　積水化学工業　東ソー

昭栄化学工業　三洋化成工業　KMバイオロジクス

◇ **電気機器**　ソニー　デンソー　パナソニック　日立製作所　シャープ　パイオニア
三菱電機　日東電工　京セラ

◇ **電気・ガス**　中部電力　関西電力　九州電力　大阪ガス　東京ガス　東京電力　電源開発

◇ **サービス**　ＮＴＴ　ＮＨＫ　安川エンジニアリング　三菱電機ビルテクノサービス
パナソニックアプライアンス社　富士通九州システムサービス　いわさきグループ
日本オーチス・エレベータ　Mテック

◇ **地元企業**　西部ガス　九州電力　安川電機　三菱重工業長崎造船所　シーヴィテック九州
佐賀鉄工所 佐賀新聞社　ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング　ＳＵＭＣＯ
東京エレクトロン九州 九州テン　日本理工医学研究所　ＭＨＰＳエンジニアリング　たらみ
長崎キヤノン エフエム長崎　ＭＨＩソリューションテクノロジーズ　戸上電機製作所
佐世保重工業 大島造船所 名村造船 相浦機械　福祉ソフト　新日本無線

９－２ 進学について

高専の卒業生は、技術者として、十分な素養と専門的な学力を身につけているが、卒業後さらに勉学を続けたい者には、高専専攻科への入学と大学３年次への編入学の途が開かれています。

（１）高専卒業後、２年の修学期間が必要な専攻科を置く高専が全国に５１校あります。平成９年度より本校にも専攻科が設置され、毎年１学年２５名から３０名程度の卒業生を受け入れて現在５０名程度の専攻科生が在籍しています。本校の専攻科には複合工学専攻があり、専攻科は、高専卒業生が高専で引き続いて、より高度の高専の教育理念に基づいた教育と研究の指導が受けられます。専攻科修了者は、一定の要件を満たすと学士の学位（大学卒業と同じ資格）を取得でき、大学院へ進学することもできます。

なお、本校では、平成１５年度よりＪＡＢＥＥ対応教育プログラム（第１０項参照）をスタートさせました。

（２）本校卒業生の編入実績がある国公立大学は次のとおりで、工学部、理学部及び農学部などに編入学しています。また、この他に多数の私立大学があります。

長岡技術科学大学	千葉大学	福井大学	香川大学
豊橋技術科学大学	東京大学	三重大学	九州大学
電気通信大学	九州工業大学	東京農工大学	京都府立大学
熊本大学	東北大学	東京工業大学	大阪府立大学
佐賀大学	東京海洋大学	長崎大学	岡山大学
大分大学	群馬大学	名古屋工業大学	神戸大学
宮崎大学	金沢大学	広島大学	鹿児島大学
筑波大学	信州大学	山口大学	大阪大学
京都工芸繊維大学	愛媛大学	横浜国立大学	徳島大学
高知大学			

１０ 日本技術者教育認定機構（ＪＡＢＥＥ）対応教育プログラムについて

高専本科５年課程を経て、専攻科教育課程の必要な単位を修得し、本校の定めた基準を満たした場合、大学改革支援・学位授与機構から『学士（工学)』の学位が授与され大学学部卒業と同等となり、大学院への進学も可能となります。

また、平成１５年度からは、本科４、５年と専攻科を合わせた４年間の教育において、日本技術者教育認定機構（ＪＡＢＥＥ）対応の技術者教育プログラム「複合型もの創り工学」を設定し、平成１６年度にその審査を受け本審査に合格しました。平成１６年度修了生より「ＪＡＢＥＥプログラム修了生」として国際的に認められた技術者として認定されています。

佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム

（1）プログラム名

「複合型もの創り工学」

（2）育成しようとする自立した技術者像

グローバル化した社会において、高度化、複合化した工学分野の諸問題を解決して「もの創り」を行うために、各専門分野（機械工学、電気電子工学、情報工学、化学・生物工学）について深い専門性を養いつつ、先進的な他の専門分野の知識と技術も身につける複合的な教育を行うことにより、複眼的な問題解決能力を備えた創造性豊かな、世界に通用する**「もの創り技術者」**を育成します。

（3）学習・教育到達目標

（A）工学の基礎と専門

1) 数学（微分積分学、線形代数、微分方程式、確率・統計など）と自然科学（物理、化学など）の基礎知識を身につけて、工学的諸問題の解決に応用できること
2) 情報技術の基礎知識を身につけて、情報収集、実験データの解析・評価のツールとしてコンピュータを活用できること
3) 基礎工学の知識を身につけて、複合化した「もの創り」の実務における工学的諸問題の解決に応用できること
4) それぞれの専門分野における「もの創り」のための４つの専門科目群（材料・要素、設計・製造、評価・解析、複合系）の知識を身につけて、「もの創り」に応用できること

（B）地球的視点と技術者倫理

1) 他の国の歴史的・文化的背景や国際問題に関する基礎知識を身につけて、グローバルな視点でものごとを考えることができること
2) 技術が自然や社会に与える影響・効果を理解して、技術者としての責任を自覚できること

（C）コミュニケーション能力

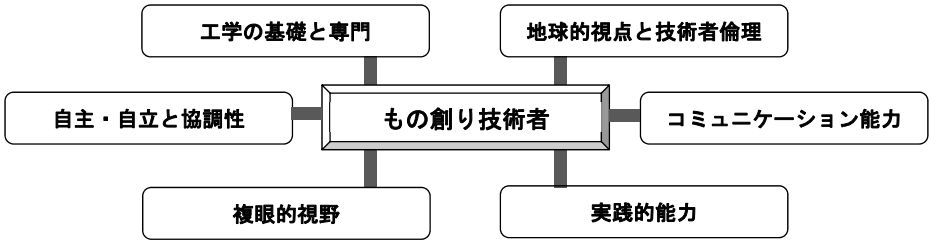
1) 技術的な内容を日本語により文章や口頭で論理的に説明できること
2) 相手の質問や意見を聞いて日本語で適切に答えることができること
3) 英語による基礎的なコミュニケーションができること
4) 基礎的な技術英語の文章を読み書きできること

（D）複眼的かつ実践的能力

1) 自分で具体的な計画や手順を決めて基礎的な実験を実施し、得られた結果を正しく評価・解析して考察し、論理的に説明できること
2) いくつかの専門分野の知識や利用可能な情報・技術・手段を駆使するとともに創造性を発揮して、調査・解析を行い、解決策を組み立てて実行し、課題を解決できること
3) 社会の要求する課題を解決するにあたって、その内容を分析して、計画や方策を複眼的にデザインできること
4) 実験、実習、研究、インターンシップなどを通して実践的能力を身につけ、技術者が経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができること

（E）自主・自立と協調性

1) 社会の要請に迅速に対応し、科学技術の進展を先導するため、自主的・継続的に学習できること
2) 要求された課題に対して、自立して、あるいは他の人と協力しながら計画的に作業を進め、期限内に終わらせることができること
3) 健全な心身を持ち、学内外の人々と協調して行動できること



（4）プログラムの構成

本科４、５年と専攻科の２年までの４年間で構成されています。（全学科及び全工学系）

（5）プログラム履修者の決定

専攻科への入学時に対象者を決定します。

（6）認定対象学生

認定対象は原則専攻科修了生全員です。

（7）プログラムの修了要件

本プログラムの修了要件の全てを満たした者に修了証書を授与します。

[佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム「複合型もの創り工学」に関する規程抜粋]

第７条　本プログラムの修了要件は次の各号とし、全てを満たした者に修了証書を授与する。
（１）　本校の専攻科教育課程の必要な単位を修得すること。
（２）　大学改革支援・学位授与機構より、学士の学位を受けること。
（３）　本プログラムにおいて、１２４単位以上を修得すること。
（４）　付表に定める学習・教育到達目標とその評価方法および評価基準を満たしていること。
２　本プログラムの修了認定は、専攻科委員会において行う。

（8）出願資格と JABEE プログラム修了要件について

専攻科に入学した者は、原則全員、佐世保工業高等専門学校本科・専攻科「複合型もの創り工学」プログラムの履修者となります。しかし、本教育プログラムは、具体的には佐世保工業高等専門学校の本科４、５年生及び専攻科１年、２年のカリキュラム（平成１６年４月１日か

ら施行）で構成されていますので、募集要項の出願資格に定める専攻科に入学できる者であっても、ＪＡＢＥＥプログラムの修了要件を満たさない場合があります。

専攻科の入学者で、ＪＡＢＥＥプログラム修了要件を満たさない場合は、専攻科入学後に補講等により、学力認定を受け、定められた基準を満たす必要があります。

① 佐世保工業高等専門学校卒業（見込み）者の場合

ＪＡＢＥＥ「複合型もの創り工学」プログラムに規定されている科目を専攻科入学前に履修しないで合格となった者は、入学後に補講等でこれらの科目を受講し、単位を修得する必要があります。

佐世保工業高等専門学校卒業者であっても、平成１５年３月以前の卒業者に対しては成績証明書、シラバス等で個別の審査を実施します。審査の結果、修了要件を満たさないと判定された場合は、補講等を受講し、学力認定を受け、定められた基準を満たさなければなりません。

② 佐世保工業高等専門学校卒業者以外の場合

佐世保工業高等専門学校卒業者以外で合格した者については、成績証明書、シラバス等の学習保証時間を証明することができる書類により履修科目を個別に審査します。審査の結果、本校と同等の科目・基準で修得したと認められない場合には、補講等を受講し、定められた基準を満たす必要があります。

※　令和５年度に新設される九州大学との連携教育プログラムの対象者は非JABEEコースとなり、「複合型ものづくり工学」プログラムの対象外となる予定です。なお、非JABEEコースの詳細は、現在作成中です。

１１　入学後の所要経費

名称＼区分		入学時（４月）	１０月	備考
入学料		84,600 円	0 円	３月中に納付
授業料		117,300 円	117,300 円	年２回に分納
学生会	入会金	1,500 円	0 円	入学時のみ
	会費	7,500 円	7,500 円	年２回に分納
工場見学旅行経費		100,000 円	0 円	第４学年で実施。実施（10 月）前に納付
その他諸納金		27,550 円	13,000 円	
教科書・参考書等		約 30,000 円	0 円	
体操服等		約 20,000 円	0 円	
学寮	寄宿料	4,800 円	4,000 円	（月額）　800 円（1 人部屋）
	寮費	52,000 円	52,000 円	（月額）10,400 円
	特別寮費	2,000 円	0 円	入寮時のみ
合計		約 447,250 円	193,800 円	

※ 上記の経費は令和４年度の予定額であり、入学時及び在学中に改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。学寮経費については、別途１日当り 1,080 円の給食費が毎月必要となります。

別表第１（第２４条関係）

教　育　課　程　表

平成27年度～令和元年度入学
一般科目（機械・電気電子・電子制御工学科）

授業科目			単位数	形態	学年別単位数					備考
					1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語	国語	8	履	3	3	2			
		日本語と文学	2	学				①	①	
	社会	技術者倫理	2	学					②	
		歴史	3	履		1	2			
		地理	2	履	2					
		政治経済	1	履		1				
		国際関係論	1	学				①		
	数学	代数	4	履	4					
		幾何	3	履	3					
		基礎線形代数	3	履		3				
		微積分	8	履		4	4			
	理科	物理	4	履		2	2			
		化学	4	履	2	2				
		生物	2	履	2					
	体育	保健体育	6	履	2	2	2			
		健康と科学	4	履				2	2	
	芸術		1	履		1				
	外国語	英語	11	履	3	3	3			
				学				①	①	
		英作文	4	履	2	2				
		英会話	3	履	1	1	1			
		コミュニケーション基礎	1	履			1			
		コミュニケーション	2	学				①	①	
	小計		79		24	25	17	6	7	
選択科目	地理学		2	学				②		２単位選択
	法学		2	履				2		
	経済学		2	履				2		
	哲学		2	履				2		
	歴史学		2	学				②		
	数学特論		2	履				2		
	自然科学概論		2	履				2		
	英会話		2	履				2		
	ドイツ語		2	履				2		
	中国語		2	履				2		
	ハングル語		2	履				2		
	フランス語		2	履				2		
	小計		24					24		
開設単位数計			103		24	25	17	30	7	
修得単位数計			81		24	25	17	8	7	
特別活動			3		1	1	1			

1. 形態欄「履」は学則第２４条第３項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第２４条第４項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数，〇付数字は「学修単位」の単位数を表す。

平成27年度～令和元年度入学
一般科目（物質工学科）

授業科目			単位数	形態	学年別単位数					備考
					1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語	国語	8	履	3	3	2			
		日本語と文学	2	学				①	①	
	社会	技術者倫理	2	学					②	
		歴史	3	履		1	2			
		地理	2	履	2					
		政治経済	1	履		1				
		国際関係論	1	学				①		
	数学	代数	4	履	4					
		幾何	3	履	3					
		基礎線形代数	3	履		3				
		微積分	8	履		4	4			
	理科	物理	4	履		2	2			
		化学	4	履	4					
		生物	2	履	2					
	体育	保健体育	6	履	2	2	2			
		健康と科学	4	履				2	2	
	芸術		1	履		1				
	外国語	英語	11	履	3	3	3			
				学				①	①	
		英作文	4	履	2	2				
		英会話	3	履	1	1	1			
		コミュニケーション基礎	1	履			1			
		コミュニケーション	2	学				①	①	
	小計		79		26	23	17	6	7	
選択科目	地理学		2	学				②		2単位選択
	法学		2	履				2		
	経済学		2	履				2		
	哲学		2	履				2		
	歴史学		2	学				②		
	数学特論		2	履				2		
	自然科学概論		2	履				2		
	英会話		2	履				2		
	ドイツ語		2	履				2		
	中国語		2	履				2		
	ハングル語		2	履				2		
	フランス語		2	履				2		
	小計		24					24		
開設単位数計			103		26	23	17	30	7	
修得単位数計			81		26	23	17	8	7	
特別活動			3		1	1	1			

1. 形態欄「履」は学則第２４条第３項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第２４条第４項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数，○付数字は「学修単位」の単位数を表す。

別表第２（第２４条関係）

教　育　課　程　表

平成29年度～令和元年度入学
専門科目（機械工学科）

	授業科目	単位数	形態	学年別単位数					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	応用数学Ⅰ	1	履			1			
	応用数学Ⅱ	2	学				②		
	応用数学Ⅲ	1	学				①		
	機械力学	2	学				②		
	一般物理	2	学					2	
	情報セキュリティ基礎	1	履	1					
	プログラム基礎	2	履			2			
	材料力学	4	履			2			
			学				②		
	弾性力学	1	学					①	
	材料学	2	履		1	1			
	機械工作法	4	履		1	2			
			学				①		
	工作機械	2	学					2	
	機構学	2	学				②		
	設計法	4	履			2			
			学				②		
	設計製図	6	履	3	3				
	機械振動学	2	学					2	
	熱力学	2	学				②		
	熱工学	2	学					2	
	水力学	2	学				②		
	流体力学	2	学					2	
	計測工学	2	学					2	
	電気工学	2	履			2			
	メカトロニクス	2	学				②		
	制御工学	2	学					②	
	機械工学基礎	2	履	2					
	創作実習	1	履	1					
	機械工作実習	4.5	履	1.5	3				
	ものづくり総合実習	5.5	履			5.5			
	機械工学実験	6	学				④	②	
	卒業研究	8	履					8	
	小計	81		8.5	8	17.5	22	25	
選択科目	機械システム設計Ⅰ	2	学					②	
	機械システム設計Ⅱ	2	学					②	
	文献講読	1	学					①	
	機械工学特別演習	1	学					①	
	情報処理	1	学					①	
	材料強度学	1	学					①	5年の選択科目は5単位以上選択
	精密加工学	1	学					①	
	エネルギー変換工学	1	学					①	
	航空工学	1	学					①	
	ロボット工学	1	学					①	
	トライボロジー	1	学					①	
	工場実習	2	履				2		
	技術国際研修	1	履				1		
	社会人基礎力育成セミナー	2	履				2		
	国際研修Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1	各学年２単位まで履修可
	国際研修Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2	
	イノベーション創成Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1	各学年２単位まで履修可
	イノベーション創成Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2	
	小計	48		6	6	6	11	19	
開設単位数計		129		14.5	14	23.5	33	44	
修得単位数計		86		8.5	8	17.5	22	30	

1.形態欄「履」は学則第２４条第３項により開設される授業科目。
2.形態欄「学」は学則第２４条第４項により開設される授業科目。
3.学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数，○付数字は「学修単位１」，
□付数字は「学修単位２」の単位数を表す。

平成29年度～令和元年度入学
専門科目（電気電子工学科）

	授業科目	単位数	形態	学年別単位数					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	応用数学Ⅰ	1	履			1			
	応用数学Ⅱ	2	学				②		
	情報セキュリティ基礎	1	履	1					
	電気数学	2	学				2		
	一般物理	2	学				②		
	工業物理概論	2	学				②		
	電気電子工学基礎	2	履	2					
	情報工学基礎演習	1	履	1					
	電気磁気学Ⅰ	3	履		1	2			
	電気磁気学Ⅱ	2	学				②		
	電気回路Ⅰ	4	履		2	2			
	電気回路Ⅱ	2	学				②		
	電気電子計測Ⅰ	1	履			1			
	電気電子計測Ⅱ	2	学				②		
	電気電子材料	2	学					2	
	電子工学	2	学					2	
	電子回路Ⅰ	1	履			1			
	電子回路Ⅱ	2	学				②		
	通信工学	2	学					2	
	デジタル回路	2	履			2			
	プログラミング	3	履		1	2			
	情報処理	2	学				2		
	情報通信ネットワーク	2	学					2	
	電子計算機応用	2	学					②	
	電気機器Ⅰ	2	履			2			
	電気機器Ⅱ	2	学				②		
	制御工学	2	学				②		
	電力工学	2	学					②	
	電気法規・施設管理	2	学					②	
	電気電子製図演習	2	履	2					
	創作実習	1	履	1					
	電気電子情報工学実験Ⅰ	6	履		3	3			
	電気電子情報工学実験Ⅱ	6	学				④	②	
	卒業研究	11	履					11	
	小計	83		7	7	16	26	27	
選択科目	高電圧工学	2	学					2	5年生は2単位以上選択
	情報工学	2	学					2	
	電気設計	2	学					2	5年生は2単位以上選択
	信号処理	2	学					2	
	無線通信概論	1	履					1	
	工場実習	2	履				2		
	技術国際研修	1	履				1		
	国際研修Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1	各学年２単位まで履修可
	国際研修Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2	
	イノベーション創成Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1	各学年２単位まで履修可
	イノベーション創成Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2	
	小計	42		6	6	6	9	15	
開設単位数計		125		13	13	22	35	42	
修得単位数計		87		7	7	16	26	31	

1. 形態欄「履」は学則第２４条第３項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第２４条第４項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数，○付数字は「学修単位１」，
□付数字は「学修単位２」の単位数を表す。

平成30年度～令和元年度入学
専門科目（電子制御工学科）

	授業科目	単位数	形態	学年別単位数					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	応用数学Ⅰ	1	履			1			
	応用数学Ⅱ	2	学				②		
	応用数学Ⅲ	1	学				①		
	一般物理	4	学				②	2	
	生産加工Ⅰ	1	履	1					
	生産加工Ⅱ	1	履			1			
	工学基礎概論	2	学					2	
	図学	1	履	1					
	製図	2	履	1	1				
	情報セキュリティ基礎	1	履	1					
	情報処理	3	履	1	2				
	ディジタル回路	2	履			2			
	ソフトウェア科学Ⅰ	2	履			2			
	ソフトウェア科学Ⅱ	2	学				②		
	数値プログラミング	1	学					1	
	情報通信	2	学					②	
	ｼｽﾃﾑ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ論	2	学					②	
	基礎電気工学	2	履	2					
	電気工学	2	履		2				
	電気回路Ⅰ	2	履			2			
	電気回路Ⅱ	2	学				②		
	電気磁気学Ⅰ	2	履			2			
	電気磁気学Ⅱ	3	学				③		
	電子工学	2	学				2		
	電子回路Ⅰ	2	履			2			
	電子回路Ⅱ	2	学				②		
	通信工学	2	学				②		
	計測工学	2	学				2		
	制御工学	2	学				②		
	電子制御工学	2	学					2	
	創作実習	1	履	1					
	工学実験・実習	12	履		3	3			
			学				③	③	
	卒業研究	10	履					10	
	小計	80		8	8	15	25	24	
選択科目	ロボット工学	1	学					1	
	制御工学特論	1	学					1	
	情報通信特論	2	学					2	5年の選択科目は6単位以上選択
	知識工学	1	学					1	
	画像工学	1	学					1	
	システム工学	2	学					②	
	工場実習	2	履				2		
	技術国際研修	1	履				1		
	国際研修Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1	各学年２単位まで履修可
	国際研修Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2	
	イノベーション創成Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1	各学年２単位まで履修可
	イノベーション創成Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2	
	小計	41		6	6	6	9	14	
開設単位数計		121		14	14	21	34	38	
修得単位数計		86		8	8	15	25	30	

1. 形態欄「履」は学則第２４条第３項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第２４条第４項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数，○付数字は「学修単位１」，
□付数字は「学修単位２」の単位数を表す。

令和元年度入学
専門科目（物質工学科）

	授業科目	単位数	形態	学年別単位数 1年	2年	3年	4年	5年	備考
必修科目	基礎物質化学	1	履	1					
	基礎生物工学	1	履	1					
	工学基礎	1	履	1					
	情報セキュリティ基礎	1	履	1					
	基礎情報処理	1	履		1				
	情報処理Ⅰ	1	履			1			
	情報処理Ⅱ	1	学					①	
	微生物学序論	1	履		1				
	分析化学	2	履		2				
	無機化学	2	履			2			
	有機化学Ⅰ	1	履		1				
	有機化学Ⅱ	2	履			2			
	応用化学	1	履			1			
	応用数学Ⅰ	1	履			1			
	応用数学Ⅱ	2	学				②		
	物理化学Ⅰ	1	履			1			
	物理化学Ⅱ	2	学				②		
	物理化学Ⅲ	2	学					[2]	
	化学工学Ⅰ	2	履			2			
	化学工学Ⅱ	2	学				[2]		
	理論有機化学	2	学				②		
	機器分析	2	学				[2]		
	反応工学	2	学					[2]	
	生物化学Ⅰ	2	学				[2]		
	生物化学Ⅱ	2	学					[2]	
	一般物理	2	学				[2]		
	電気・電子工学概論	2	学					[2]	
	機械工学概論	2	学					[2]	
	品質管理	1	学					①	
	環境工学	1	学					①	
	文献講読	1	学					①	
	創作実習	1	履	1					
	物質化学実験1	5	履		5				
	物質化学実験2	5	履			5			
	物質化学実験3	5	学				⑤		
	物質化学実験4	2	学				②		
	卒業研究	11	履					11	
	小計	76		5	10	15	21	25	
物質コース 必修科目	機能材料科学	1	学					[1]	
	無機材料学	2	学				[2]		
	有機材料学	2	学				[2]		
	材料化学実験	3	学					③	
	小計	8					4	4	
生物コース 必修科目	生体触媒工学	2	学				[2]		
	応用微生物学	2	学				[2]		
	細胞・遺伝子工学	1	学					[1]	
	生物化学実験	3	学					③	
	小計	8					4	4	
共通選択科目	物質化学特論	1	学					[1]	
	資源化学	1	学					[1]	
	生物工学特論	1	学					[1]	5年の選択科目は
	植物工学	1	学					[1]	2単位以上選択
	情報工学	1	学					[1]	
	工場実習	2	履				2		
	技術国際研修	1	履				1		
	国際研修Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1	各学年２単位まで履修可
	国際研修Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2	
	イノベーション創成Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1	各学年２単位まで履修可
	イノベーション創成Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2	
	小計	38		6	6	6	9	11	
開設単位数計		122		11	16	21	34	40	
修得単位数計		86		5	10	15	25	31	

1. 形態欄「履」は学則第２４条第３項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第２４条第４項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数，○付数字は「学修単位１」，
□付数字は「学修単位２」の単位数を表す。

専 攻 科 教 育 課 程

別表第3(第50条関係)

令和2年度入学以降
一般科目及び専門基礎科目

授業科目			単位数	標準履修年次	備考	専攻の区分							
						機械工学		電気電子工学		情報工学		応用化学	
							MI		MI		MI		MI
一般科目	必修科目	日本語表現法	2	1年		△	△	△	△	△	△	△	△
		総合英語Ⅰ	2	1年		△	△	△	△	△	△	△	△
		総合英語Ⅱ	2	2年		△	△	△	△	△	△	△	△
		応用コミュニケーション	1	1年		△	△	△	△	△	△	△	△
		線形代数	2	1年		○	○	○	○	○	○	○	○
		確率統計	2	1年		○	○	○	○	○	○	○	○
		必修科目修得単位数計	11										
	選択必修科目	一般化学	2	1年		○		○		○		○	
		離散数学	2	1年		○	○	○	◎	○	○	○	○
		選択必修科目開設単位数計	4										
		選択必修科目修得単位数計	2										
	選択科目	国際協力論	2	1年	←2単位以上修 4単位以上修得	△	△	△	△	△	△	△	△
		対外交渉史論	2	1年		△	△	△	△	△	△	△	△
		産業経済と技術者倫理	2	2年	←機械・電気・情報のMI履修者はいずれか2単位修得	△	△	○	○	△	△	△	△
		社会福祉論	2	1年		△	△	△	△	△	△	△	△
		選択科目開設単位数計	8										
		選択科目修得単位数計	4以上										
	一般科目修得単位数計		17以上										
専門基礎科目	必修科目	技術者総合ゼミⅠ	2	1年		○	○	○	○	○	○	○	○
		技術者総合ゼミⅡ	1	2年		○	○	○	○	○	○	○	○
		総合創造実験	2	1年		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		総合創造演習	2	1年		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		計算科学	2	1年		○	○	◎	◎	◎	◎	○	○
		必修科目修得単位数計	9										
	選択必修科目	現代物理学	2	1年	2単位修得	○		○		○		○	
		位相数学	2	1年			○		○		○		○
		機能材料論	2	1年	4単位修得	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	
		環境論	2	1年		○		○		○		◎	◎
		代数学概論	2	1年		○	○	○	○	○	○	○	○
		選択必修科目開設単位数計	10										
		選択必修科目修得単位数計	6										
	専門基礎科目修得単位数計		15										
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計			42										
一般科目及び専門基礎科目修得単位数計			32以上										

専攻に係わる単位
　専門的な内容の授業科目の単位(専門科目の単位)→◎で表示
　専門に関連する授業科目の単位(関連科目の単位)→○で表示
専攻に係わる単位以外の単位→△で表示

別表第4(第50条関係)

令和3年度入学以降

専門科目

授業科目			単位数	標準履修年次	系	備　考	専攻の区分							
							機械工学		電気電子工学		情報工学		応用化学	
								MI		MI		MI		MI
専門科目	必修科目	特別研究	8	2年			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		科学英語文献ゼミ	2	2年			○	○	○	○	○	○	○	○
		固体力学	2	1年			◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
		生命科学	2	1年			○	○	○	○	○	○	◎	◎
		情報基礎論	2	1年			◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
		必修科目修得単位数計	16											
	選択必修科目	場の力学	2	1年	機	10単位修得	◎	◎						
		粘性流体力学	2	1年	機		◎	◎						
		精密加工特論	2	1年	機		◎	◎						
		機械振動論	2	1年	機		◎	◎						
		画像情報工学	2	1年	電情				◎	◎	◎	◎		
		通信方式	2	1年	電情				◎	◎	◎	◎		
		電気エネルギー応用	2	1年	電情				◎	◎	◎	◎		
		触媒プロセス工学	2	1年	化生								◎	◎
		工業分析化学	2	1年	化生								◎	◎
		酵素工学	2	1年	化生								◎	◎
		熱流動工学	2	2年	機		◎	◎						
		情報科学	2	2年	電情				◎	◎	◎	◎		
		知識情報工学	2	2年	電情				◎	◎	◎	◎		
		応用物理化学	2	2年	化生								◎	◎
		無機工業化学	2	2年	化生								◎	◎
		選択必修科目開設単位数計	30			専攻に係わる単位 専門的な内容の授業科目の単位(専門科目の単位)→◎で表示 専門に関連する授業科目の単位(関連科目の単位)→○で表示 専攻に係わる単位以外の単位→△で表示								
		選択必修科目修得単位数計	10											

別表第4（第50条関係）

令和3年度入学以降

専門科目

授業科目			単位数	標準履修年次	系	備　考	専攻の区分							
							機械工学		電気電子工学		情報工学		応用化学	
								MI		MI		MI		MI
専門科目	選択科目	製造システム論	2	1年	機	6単位以上修得	◎	◎	○	○	○	○	○	○
		ソフトウェア科学概論	2	1年	電情		○	○	◎	◎	◎	◎	○	○
		電気回路特論	2	1年	電情		○	○	◎	◎	◎	◎	○	○
		高分子工学	2	1年	化生		○	○	○	○	○	○	◎	◎
		植物学特論	2	2年	化生		○	○	○	○	○	○	◎	◎
		電気通信概論	2	1年	電情		○	○	◎	◎	◎	◎	○	○
		流れ学	2	2年	機		◎	◎	○	○	○	○	○	○
		破壊強度論	2	2年	機		◎	◎	○	○	○	○	○	○
		現代制御論	2	1年	機		◎	◎	○	○	◎	◎	○	○
		数値力学解析法	2	2年	機		○	○	○	○	○	○	○	○
		工業計測学	2	2年	機		◎	◎	○	○	◎	◎	○	○
		メカトロニクス工学	2	2年	電情		○	○	◎	◎	◎	◎	○	○
		材料科学	2	2年	電情		○	○	◎	◎	◎	◎	○	○
		放電工学	2	2年	電情		○	○	◎	◎	◎	◎	○	○
		電磁気学特論	2	2年	電情		○	○	◎	◎	◎	◎	○	○
		生産システム工学	2	2年	電情		○	○	◎	◎	○	○	○	○
		構造生物化学	2	2年	化生		○	○	○	○	○	○	◎	◎
		移動現象論	2	1年	化生		○	○	○	○	○	○	◎	◎
		有機化学特論	2	2年	化生		○	○	○	○	○	○	◎	◎
		インターンシップ	2	1～2年	共		○	○	○	○	○	○	○	○
		国際研修Ⅲ	2	1～2年	共	各学年2単位まで履修可								
		国際研修Ⅳ	4	1～2年	共									
		イノベーション創成Ⅲ	2	1～2年	共	各学年2単位まで履修可								
		イノベーション創成Ⅳ	4	1～2年	共									
		選択科目開設単位数計	52											
		選択科目修得単位数計	6以上											
専門科目開設単位数計			98											
専門科目修得単位数計			32以上											
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計			42											
一般科目及び専門基礎科目修得単位数計			32以上											
開設単位数総計			140											
修得単位数総計			64以上											

専攻に係わる単位
　専門的な内容の授業科目の単位（専門科目の単位）→◎で表示
　専門に関連する授業科目の単位（関連科目の単位）→○で表示
専攻に係わる単位以外の単位→△で表示

付表　学習・教育到達目標とその評価方法および評価基準

学習・教育到達目標			評価方法および評価基準	備　考
(A) 工学の基礎と専門	A－1	数学(微分積分学、線形代数、微分方程式、確率・統計など)と自然科学(物理、化学など)の基礎知識を身につけて、工学的諸問題の解決に応用できること	①別表A-1欄に示す数学・自然科学の科目各群より2科目以上を修得する。 ②数学については、多変数関数の微積分、線形空間、行列、行列式、微分方程式、確率分布、仮説検定の内容の総合試験Ⅰ(基礎)により評価する。 ③一般化学については、原子構造、化学量論、化学結合、酸・塩基、酸化・還元、基礎有機化学の内容の総合試験Ⅰ(基礎)により評価する。 ④物理については、力学(運動の法則、運動量、放物運動)、電磁気学(静電場、直流回路、磁場、電磁力、電磁誘導)、現代物理(特殊相対論、一般相対論、物質の波動性と粒子性、量子力学)の内容の総合試験Ⅰ(基礎)により評価する。 総合試験Ⅰ(基礎)は、技術士一次試験レベルとする。	総合試験Ⅰ (数学、自然科学、情報技術)
	A－2	情報技術の基礎知識を身につけて、情報収集、実験データの解析・評価のツールとしてコンピュータを活用できること	①別表A-2欄に示す情報技術の科目群より2科目以上を修得する。 ②基本的なプログラムやアルゴリズムを理解し、作成、プログラム化できることを技術士一次試験レベルの総合試験Ⅰ(基礎)により評価する。	
	A－3	基礎工学の知識を身につけて、複合化したもの創りの実務における工学的諸問題の解決に応用できること	①別表A-3欄に示す基礎工学の「設計・システム系」、「情報・論理系」、「材料・バイオ系」、「力学系」、「社会技術系」から各系1科目、計6科目以上を修得する。 ②設計・システム、材料・バイオ、力学、社会技術に関する内容の技術士一次試験レベルの総合試験Ⅱ(基礎工学)により評価する。	総合試験Ⅱ (基礎工学)
	A－4	それぞれの専門分野における“もの創り”のための4つの専門科目群(材料・要素、設計・製造、評価・解析、複合系)の知識を身につけて、“もの創り”に応用できること	①別表A-4欄に示すもの創り専門工学の「材料・要素群」、「設計・製造群」、「評価・解析群」、「複合系群」から各群2科目以上を修得する。 ②材料・要素、設計・製造、評価・解析、複合系に関する内容の技術士一次試験レベルの総合試験Ⅲ(専門工学)により評価する。	総合試験Ⅲ (専門工学)
(B) 地球的視点と技術者倫理	B－1	他の国の歴史的・文化的背景や国際問題に関する基礎知識を身につけて、グローバルな視点でものごとを考えることができること	①別表B-1欄に示す「社会系科目群」より2科目以上修得する。ただし、その中に「対外交渉史論」か「国際協力論」のどちらかを含む。 ②『民族や宗教に根ざす地域紛争や重要資源の利権に関係する国際問題など、現代の国際社会における諸問題』の中から具体的なテーマを設定させ、レポートを提出させる(総合試験Ⅳ)。「歴史的・文化的背景を踏まえているか」、「多文化共生、文化の相対性などの概念を踏まえているか」、「グローバルな視点で問題を捕らえているか」、「テーマの設定が適切で、問題に対する理解度が十分か」という観点から評価する。	総合試験Ⅳ (地球的視点)
	B－2	技術が自然や社会に与える影響・効果を理解して、技術者としての責任を自覚できること	①別表B-2欄に示す「倫理系科目群」より2科目以上修得する。 ②技術者の専門職としての責務、技術と公衆、社会、環境との関係、また、科学技術の社会的意味など、現代の技術者や科学技術をめぐる諸問題について具体的なテーマを設定させ、レポートを提出させる(総合試験Ⅴ)。「技術が公衆、社会、環境などに与えうる影響を理解しているか」、「科学技術と人間生活の関係をグローバルにとらえる視点があるか」、「技術者としての社会的責任の自覚があるか」、「テーマの設定が適切で、問題に対する理解度が十分か」という観点から評価する。	総合試験Ⅴ (技術者倫理)
(C) コミュニケーション能力	C－1	技術的な内容を日本語により文章や口頭で論理的に説明できること	①「日本語表現法」において、自ら取組んだ研究について、一般人対象に説明する文章を作成させ、評価する。 ②「卒業研究」と「特別研究」の審査・発表会及び学会発表等で評価する。	・日本語及び英語によるプレゼンテーション ・英語を用いたアブストラクト作成 ・学会等での発表
	C－2	相手の質問や意見を聞いて日本語で適切に答えることができること	①「技術者総合ゼミ」において、プレゼンテーション、ディベート、講演会などにおける質疑応答を評価する。 ②「卒業研究」と「特別研究」の審査・発表会及び学会発表等における質疑応答を評価する。	
	C－3	英語による基礎的なコミュニケーションができること	①英語を使った会話能力を育成し、日常的内容に関して、その会話を持続できるかを評価する。 ②英語を用いたリスニング・リーディング能力を育成し、主たる内容を理解できるかを評価する。 ③英語によるプレゼンテーション課題に取り組み、自分の意見をわかりやすく伝えることができるかを評価する。	
	C－4	基礎的な技術英語の文章を読み書きできること	①英語で書かれた工業分野に関するテキスト・論文を読む課題に取り組み、その主たる内容を理解できるかを評価する。 ②英語を用いたアブストラクト作成課題に取り組み、適切にその内容を表現できるかを評価する。	
(D) 複眼的かつ実践的能力	D－1	自分で具体的な計画や手順を決めて基礎的な実験を実施し、得られた結果を正しく評価・解析して考察し、論理的に説明できること	①「工学実験」を通じて総合的に評価する。 ②「総合創造実験」において、指定された実験テーマの指導書の作成と他分野の学生への実験指導を通じて、学生の実験計画・遂行能力を評価し、他分野の実験実施後に、結果の解析と報告書作成・報告会における説明を行うことにより、説明・説得能力を評価する。	工学実験 総合創造実験 総合創造演習 卒業研究 特別研究
	D－2	いくつかの専門分野の知識や利用可能な情報・技術・手段を駆使するとともに創造性を発揮して、調査・解析をおこない、解決策を組み立てて実行し、課題を解決できること	①「卒業研究」や「特別研究」を通じて総合的に評価する。 ②「総合創造演習」のマイクロ・プロセッサ内蔵の装置製作の課題を通じて、装置の考案から創造性を評価し、与えられた期限内における材料手配・購入・製作・完成後の競技発表会を通じて総合的に評価する。	
	D－3	社会の要求する課題を解決するにあたって、その内容を分析して、計画や方策を複眼的にデザインできること	①「卒業研究」や「特別研究」を通じて総合的に評価する。 ②「総合創造演習」において、与えられた課題に対して異なる機能を持つパーツを組み合わせて一つのパッケージにデザインし、それを実際に組み立ててその程度課題を克服したかを総合的に評価する。	
	D－4	実験、実習、研究、インターンシップなどを通して実践的能力を身につけ、技術者が経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができること	与えられたテーマに関する問題点を自ら見い出し、その解決方法の検討、実践を経て報告書にまとめ、発表する一連の作業を総合的に評価する。	
(E) 自主・自立と協調性	E－1	社会の要請に迅速に対応し、科学技術の進展を先導するため、自主的・継続的に学習できること	「卒業研究」や「特別研究」で、最新の研究テーマ、科学技術に触れ、研究テーマに関する学習、参考文献で得た知識や技術を基に自ら研究に取り組み、また、長期間研究を進めることにより、継続的な学習を体験させ、研究論文と審査・発表会の評価も含めて総合的に評価する.	
	E－2	要求された課題に対して、自立して、あるいは他の人と協力しながら計画的に作業を進め、期限内に終わらせることができること	「工学実験」、「総合創造実験」、「総合創造演習」において、与えられた課題やテーマ問題を与えられた条件(実験装置やグループ人数)の下で遂行し、期限内に結果を解析・考察するまでの一連の作業を総合的に評価する。	
	E－3	健全な心身を持ち、学内外の人々と協調して行動できること	①「健康と科学」において、生涯スポーツとしての各種スポーツ種目を選択し、自主的に体力の向上をはかる能力や集団スポーツにおける協調性、さらに健康の維持増進に関する基本的な知識等を総合的に評価する。 ②実験や演習等のグループで実施する科目において、協調性を評価する。 ③「工場実習」や「ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ」を通して、社会の中での協調性を評価する。	

※全ての項目において、卒業・修了に必要な科目の修得が必要である。
総合試験(Ⅰ～Ⅴ)は、「技術者総合ゼミ」で実施する。

別表　学習・教育到達目標と科目対応表（H29年度本科,R4年～専攻科入学生用）

*専攻科

学習教育到達目標		JABEE	科目名						
A	A—1	c	数学群	自然科学群	情報技術群				数学・自然科学の科目 各群より２科目以上
			応用数学Ⅱ 応用数学Ⅲ(M, S) 電気数学(E) 数学特論 線形代数* 確率統計* 位相数学* 代数学概論*	一般物理4年(E,S,C) 一般物理5年(M, S) 工業物理概論(E) 機械力学(M) 自然科学概論 植物工学(C) 健康と科学 現代物理学* 一般化学* 離散数学* 計算科学* 構造生物化学*(CB)				**科目対応表** 本科必修科目 本科選択科目 専攻科必修科目 専攻科選択科目 **学科・専攻区分（系）の略称** 学科：機械M、電気電子E、電子制御S、物質C 系：機械ME、電気電子EE、情報IT、化学・生物CB	
	A－2	e			情報処理(E) 情報ネットワーク(E) 数値ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ(S) 情報処理Ⅱ(C) 情報処理(M) 情報工学(C) 情報科学*(EE, IT) 計算科学* 離散数学* 情報基礎論* ｿﾌﾄｳｴｱ科学概論*（EE,IT）				情報技術の科目群 より２科目以上
	A—3	b d−2 e	基礎工学	専攻区分（系）	設計・システム群	情報・論理群	材料・バイオ群	力学群	社会技術群	「設計・システム系」「情報・論理系」 「材料・バイオ系」「力学系」「社会技術系」 から各系１科目、計６科目以上
				共通		情報基礎論* 離散数学* 計算科学*	機能材料論*	固体力学*	技術者倫理 環境論* 産業経済と技術者倫理*	
				機械	制御工学 製造システム論*	情報処理 数値力学解析法*		熱力学 機械振動学 水力学	文献講読 機械工学特別演習	
				電気電子 （電気電子工学科）	制御工学 電気回路Ⅱ	電子計算機応用 情報工学 情報科学* ｿﾌﾄｳｴｱ科学概論*	電気電子材料 材料科学*	電気磁気学Ⅱ	生産システム工学*	
				電気電子 （電子制御工学科）	制御工学 電気回路Ⅱ	情報通信 情報科学* ｿﾌﾄｳｴｱ科学概論*	材料科学*	電気磁気学Ⅱ	生産システム工学*	
				情報 （電気電子工学科）	制御工学 電気回路Ⅱ	電子計算機応用 情報工学 情報科学* ｿﾌﾄｳｴｱ科学概論*	電気電子材料 材料科学*	電気磁気学Ⅱ		
				情報 （電子制御工学科）	制御工学 電気回路Ⅱ	情報通信 情報科学* ｿﾌﾄｳｴｱ科学概論*	材料科学*	電気磁気学Ⅱ		
				化学・生物	品質管理 環境工学 移動現象論*	情報処理Ⅱ 情報工学	生物化学Ⅰ 生物化学Ⅱ	有機化学特論* 応用物理化学*	文献講読	
	A—4	b d−1 e	もの創り専門工学	専攻区分（系）	材料・要素群	設計・製造群	評価・解析群	複合系群		「材料・要素系」「設計・製造系」 「評価・解析系」「複合系群」から 各群２科目以上
				機　械	材料力学 弾性力学 材料強度学 ﾄﾗｲﾎﾞﾛｼﾞｰ 場の力学* 破壊強度論*	機械工作法 工作機械 設計法 流体力学 エネルギー変換工学 機械システム設計Ⅰ 機械システム設計Ⅱ 精密加工学 ロボット工学 精密加工特論* 熱流動工学* 現代制御論*	機構学 計測工学 航空工学 機械振動論* 粘性流体力学* 流れ学* 数値力学解析法* 工業計測学*	熱工学 メカトロニクス 生命科学*		
				電気電子 （電気電子工学科）	電子工学 電気電子計測Ⅱ 高電圧工学 通信方式* 放電工学* 電磁気学特論*	電力工学 電気機器Ⅱ 電気設計 電気エネルギー応用* 知識情報工学* メカトロニクス工学* 現代制御論*	電子回路II 信号処理 画像情報工学* 電気回路特論*	工業物理概論 通信工学 電気法規・施設管理 生命科学* 電気通信概論*		
				電気電子 （電子制御工学科）	電子工学 ソフトウェア科学Ⅱ システム・プログラム論 通信方式* 放電工学* 電磁気学特論*	電子制御工学 ロボット工学 制御工学特論 知識工学 システム工学 電気エネルギー応用* 知識情報工学* メカトロニクス工学* 現代制御論*	計測工学 電子回路II 情報通信特論 画像工学 画像情報工学* 電気回路特論*	工学基礎概論 通信工学 生命科学* 電気通信概論*		
				情報 （電気電子工学科）	電子工学 電気電子計測Ⅱ 高電圧工学 通信方式* 放電工学* 電磁気学特論*	電力工学 電気機器Ⅱ 電気設計 電気エネルギー応用* 知識情報工学* メカトロニクス工学* 現代制御論*	電子回路II 信号処理 画像情報工学* 電気回路特論* 工業計測学*	工業物理概論 通信工学 電気法規・施設管理 生命科学* 電気通信概論*		
				情報 （電子制御工学科）	電子工学 ソフトウェア科学Ⅱ システム・プログラム論 通信方式* 放電工学* 電磁気学特論*	電子制御工学 ロボット工学 制御工学特論 知識工学 システム工学 電気エネルギー応用* 知識情報工学* メカトロニクス工学* 現代制御論*	計測工学 電子回路II 情報通信特論 画像工学 画像情報工学* 電気回路特論* 工業計測学*	工学基礎概論 通信工学 生命科学* 電気通信概論*		
				化学・生物	理論有機化学 機能材料科学 無機材料学 有機材料学 細胞・遺伝子工学 生体触媒工学 応用微生物学 資源化学 無機工業化学* 植物学特論*	化学工学Ⅱ 反応工学 生物工学特論 物質化学特論 酵素工学* 高分子工学*	機器分析 物理化学Ⅱ 物理化学Ⅲ 触媒プロセス工学* 工業分析化学*	電気・電子工学概論 機械工学概論 生命科学*		
B	B—1	a	国際関係論	地理学	経済学	歴史学 第二外国語	対外交渉史論*	国際協力論*		社会系科目群より２科目以上。 対外交渉史論または国際協力論のどちらかを含む。
	B—2	a, b	技術者倫理	哲学	法学	産業経済と技術者倫理*	社会福祉論*	環境論*		倫理系科目群よ２科目以上。 機械・電気・情報のMI履修者は、産業経済と技術者倫理または社会福祉論のどちらかを含む。
C	C—1	d−2, f, i	日本語と文学	日本語表現法*	卒業研究	特別研究*	工学実験**			
	C—2	d−2, f, i	技術者総合ゼミ*	卒業研究	特別研究*					
	C—3	a, f	英語 コミュニケーション	英会話	総合英語Ⅰ*	総合英語Ⅱ*	応用コミュニケーション*			
	C—4	f	科学英語文献ゼミ*	特別研究*	総合英語Ⅰ*	総合英語Ⅱ*	文献購読(C)	文献購読(M) 機械工学特別演習(M)		
D	D—1	d−2, f	工学実験**	総合創造実験*						
	D—2	d−3, h	総合創造演習*	卒業研究	特別研究*					
	D—3	e	総合創造演習*	卒業研究	特別研究*					
	D—4	d−4, i	工学実験**	総合創造実験*	卒業研究	特別研究*	工場実習	インターンシップ*		
E	E—1	g	卒業研究	特別研究*	技術者総合ゼミ*					
	E—2	h, i	工学実験**	総合創造実験*	総合創造演習*					
	E—3	h, i	工学実験**	総合創造実験*	総合創造演習*	健康と科学	工場実習	インターンシップ*		

工学実験**：（機械）機械工学実験，（電気）電気電子情報工学実験Ⅱ，（電子制御）工学実験・実習，（物質）物質化学実験3，物質化学実験4